

つなげよう

# 心と命 献血で

医療に欠かすことのできない血液は、  
まだ人工的につくり出すことができないため、  
皆様からの善意の献血に支えられています。

皆様方の善意に深く感謝申し上げます。

どうか、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

献血は身近にできるボランティア。

“献血の小さな勇気が命を救う”

経験のない方もぜひ一度、挑戦してみませんか。

一人でも多くの皆様のご協力をお待ちしています。



香川県献血推進キャラクター

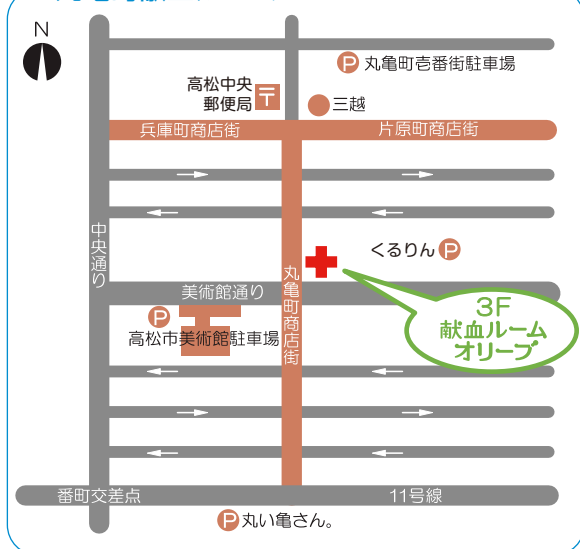
ちびっと



次のところで定期的に献血を受け付けています

| 実施場所   | 実施日                   | 受付時間                      |                           |
|--|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
|  |                       | 全血献血                      | 成分献血                      |
| 丸亀町献血ルーム<br>(高松丸亀町商店街)<br>フリーダイヤル 0120-34-2307 | 年末年始・大型連休の<br>一部のみ不定休 | 9:00~12:30<br>13:30~17:00 | 9:00~12:30<br>13:30~16:00 |

## 丸亀町献血ルーム



献血ルーム オリーブ の場所はこちらです。

高松丸亀町参番街東館3階

「オリーブ」を基調に地中海をイメージした親しみやすい空間です。  
ぜひお立ち寄りください。

- \*このほかに、献血バスが県内の各地域や職場を巡回しています。  
見かけたときは、ご協力をお願いします。
- \*献血バスの運行予定は香川県赤十字血液センターのホームページ  
<https://www.bs.jrc.or.jp/csk/kagawa/>でご覧いただけます。
- \*献血ルームと献血バスでは、混雑や密集を避けるため、献血時間の  
予約を受け付けています。

感染症対策を徹底し、安全な会場運営に取り組んでいます。

お問い合わせは 香川県赤十字血液センター  
(フリーダイヤル 0120-81-1582)

香川県・市町・香川県赤十字血液センター



# 若い世代の献血へのご協力や、幅広い世代の複数回献血へのご協力が必要です

現在、香川県内で必要な輸血用血液製剤は、県民の皆様からの献血でおおむね確保できています。

県内の献血者数、献血量は、令和元年度以降、増加が続いていましたが、令和4年度は微減となっています(グラフ1)。

年齢層別献血率では、若年層の献血率の低下傾向が続いています(グラフ2)。

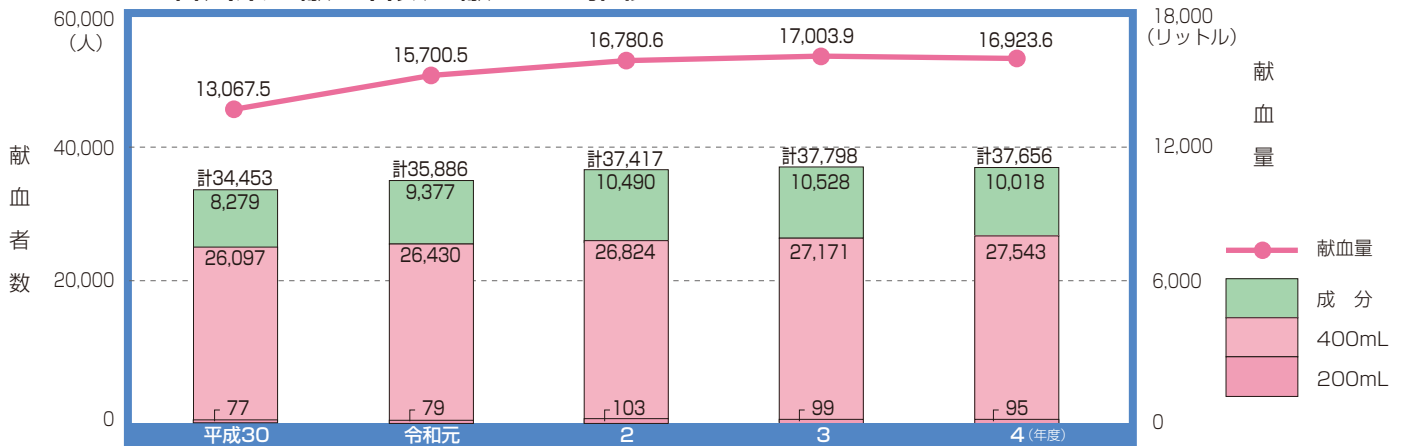
また、統計によると献血者の約7割は50歳未満

の方々ですが、血液製剤の約8割は50歳以上の

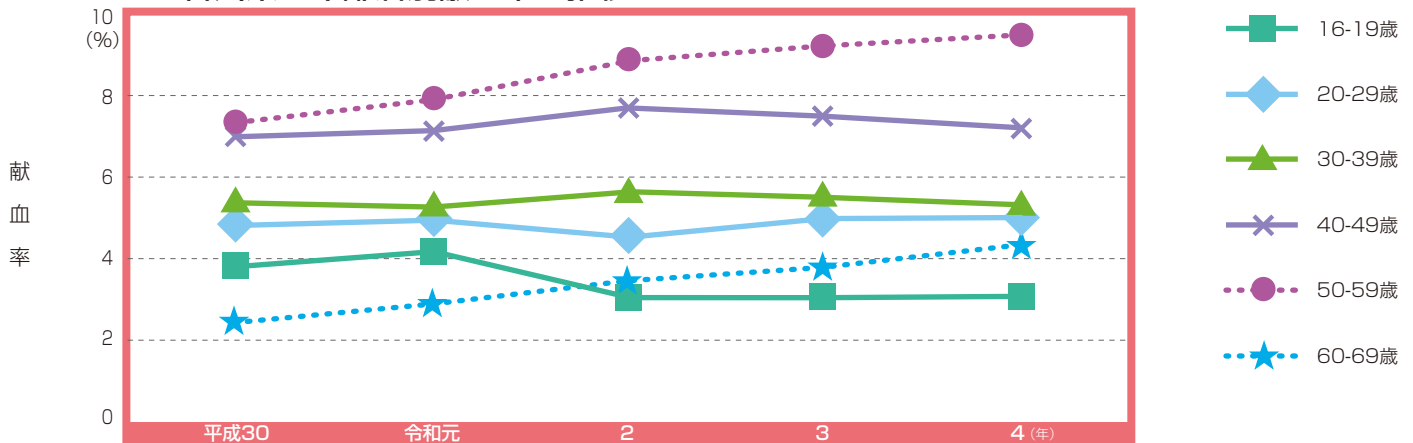
の方々に使用されています。  
少子高齢社会が進むと、血液製剤を必要とする高齢者の人口が増加し、これを支える献血可能な世代の人口が減少することが予想され、将来、輸血用血液が不足する心配があります。

このため、若い世代の献血や、幅広い世代の複数回献血へのご理解とご協力が必要となっています。

### ■グラフ1 香川県の献血者数・献血量の推移



### ■グラフ2 香川県の年齢層別献血率の推移



(備考) ・年齢層別の献血者数を年齢層別の人口で除して算出。

・人口は、政府統計の総合窓口「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」の各年1月1日のデータを使用。

・16-19歳の人口は、15-19歳の人口。



# 献血の手順は簡単です

所要時間

全血献血

約30~40分

成分献血

約60~90分

受付

血圧測定、問診、血液型判定  
ヘモグロビン測定、\*心電図検査

採血

休息

\*心電図検査を必要とする方

- ・40歳以上で初めて成分献血される方
- ・40歳以上の成分献血経験者で過去1年以内に心電図検査を受けたことがない方

献血前には、医師による問診や血圧測定などの健康診断を行い、健康であることを確認してから献血をお願いしています。



# 献血血液はこのように活用されています

皆様から献血していただいた血液は、感染防止のための検査を行ったのち、赤血球、血小板、血しょうの成分ごとに分けられた「輸血用血液製剤」となり、医

療機関へ供給されます。また血しょうの一部は血しょう分画製剤の原料となります。

## 全血献血

血液のすべての成分を献血する方法です。

400mL献血

200mL献血

## 輸血用血液製剤



### 赤血球製剤

(53,320単位)  
慢性貧血、外科手術後の輸血などに使われます。  
(有効期間:採血後28日間)



### 血しょう製剤

(15,382単位)  
複数の血液凝固因子の欠乏による出血などに使われます。  
(有効期間:採血後1年間)



### 血小板製剤

(63,990単位)  
血小板数の減少や機能低下による出血などに使われます。  
(有効期間:採血後4日間)

## 成分献血

血液中の血小板や血しょうだけを献血する方法です。

※単位：血液製剤の  
数え方で血液200mL中の  
該当成分を1単位とします。

血しょう成分献血

血小板成分献血

現在の輸血医療は、赤血球、血しょう、血小板のうち必要な成分のみを輸血する「成分輸血」が主流になっています。

輸血を受ける方の副作用を軽減するため、一人の方からたくさんの成分をいただける400mL献血と成分献血が特に必要とされています！



## 血しょう分画製剤

血友病の治療や感染症の予防・治療、急な出血、やけどの治療などに使われます。

( ) 内数字は令和4年度県内医療機関への供給単位数

# 献血カードのアプリができました!!

献血Web会員サービス「ラブラッド」のアプリ版では献血予約、事前問診、検査結果の確認、ポイントを貯めて記念品と交換などの会員限定サービスが受けられます。献血未経験の方もご利用できます。

ダウンロードはこちらから👉  
または「ラブラッド」で検索



※Apple および Apple ロゴは米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。  
※App Store は Apple Inc. のサービスマークです。  
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

●個人情報の取り扱いについて  
皆様からお申し込みいただいた個人情報は、献血の依頼、献血に関する情報提供などのためだけに利用いたします。目的外に利用すること及び第三者に提供することはありません。

●お問い合わせは…

香川県赤十字血液センター

0120-81-1582



## 採血基準

香川県で不足しがちな400mL献血と成分献血の主な基準は、以下のとおりです。

|          | 全血献血   | 成分献血                                    |                        |
|----------|--|---|------------------------|
|          | 400mL献血  | 血しょう成分献血                                | 血小板成分献血                |
| 年齢       | 男性17歳～69歳<br>女性18歳～69歳                                 | 18歳～69歳                                 | 男性18歳～69歳<br>女性18歳～54歳 |
|          | ※65歳以上の方の場合、献血していただく方の健康を考え、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。    |   |                        |
| 体重       | 50kg以上   | 香川県では男女とも48kg以上の方をお願いしています。             |                        |
| 血圧・脈拍・体温 | 最高血圧 90mmHg 以上 180mmHg 未満<br>最低血圧 50mmHg 以上 110mmHg 未満 | 脈拍 40回 / 分以上 100回 / 分以下<br>体温 37.5℃未満   |                        |
| 年間献血回数   | 男性3回以内<br>女性2回以内                                       | 血小板成分献血1回を2回分に換算して<br>血しょう成分献血と合計で24回以内 |                        |